



石巻港復興だより 第8号

(石巻港湾ひばりの通信 31号)

— 港湾は人の心も結んでいます —

復興への第一歩！

仙台塩釜港石巻港区にパナマックス船が初入港

11月15日、石巻港日和埠頭7号岸壁にパナマックス級のバルク貨物船『ZEN-NOH GRAIN MAGNOLIA』(総トン数43,012t 載貨荷重量トン82,165DWT 全長228.99m 全幅32.26m)が入港しました。

日和埠頭7号岸壁では災害復旧工事にあわせ、パナマックス級の大型船舶の入港が可能となる改良工事を行い、10月21日より供用開始になりました。今回の入港は東日本大震災で被災した日和埠頭7号岸壁復旧を記念してのものであり、今後石巻をはじめとする東北の復興の第一歩となるものと思われま



ZEN-NOH GRAIN MAGNOLIA
これだけでも十分大きいですが...

真横からみると
こんなに長い!!!
なんと全長228.99m



日和埠頭7号岸壁係留時の様子
ニューマチックアンローダーによる荷役が
行われ19日にアメリカへ向け出港しました。



※パナマックス船: パナマ運河を通航できる最大船型。
長さ 900 フィート(約 274m) 以内、幅 106 フィート(約 32m) 以内
の船で、ばら積み船の場合は載貨重量トン(D/W)が 6 万~7 万
トンクラスの船を指す
(船舶サイズ例: ハンディサイズ < ハンディマックス < パナマックス < ケープサイズ)

大型客船『オーシャンドリーム』寄港

10月9日、石巻港中島埠頭に大型客船『オーシャンドリーム』（総トン数35,265トン 全長205m 全幅26.5m 乗客定員1,422人）が寄港しました。『オーシャンドリーム』は石巻港への初来港であり、外国からの直接入港は石巻港にとっても初となる記念すべき入港でした。

7月18日に横浜港を出発し、石巻から400年前に出帆した慶長遣欧使節船『サンファン・パウティスタ号』の辿った世界18ヶ国、20の寄港地を巡った世界一周85日間のクルーズは、最後に石巻港へ寄港しました。

埠頭ではウェルカムフェスタが開かれ、大漁旗による歓迎式典や伊達武将隊による演舞や、石巻市・東松島市・女川町・松島町の特産品出店など、様々な催し物が開かれました。



オーシャンドリーム寄港
10月9日



今後の大型船舶の寄港予定



2月6日	客船『にっぽん丸』
2月8日	
総トン数 22,472t 全長 166.65m	

平成24年9月にも寄港した客船『にっぽん丸』が石巻に来港します。グローバルリーダー育成事業で、日本と世界8カ国の青年が被災地を訪問し、被災と復興の現状を正しく理解し、今後の復興支援のあり方について学ぶ事を目的としているそうです。

(平成24年9月24日撮影)

★★★★ 参加国 ☆☆☆☆

バーレーン王国、ブラジル連邦共和国、フィジー共和国、インド、メキシコ合衆国、スウェーデン王国、タンザニア連合共和国、トルコ共和国、日本

石巻港保安総合訓練が行われました

10月29日 石巻港内で不審船・不審者が発見されるというシナリオで埠頭における総合保安訓練を実施しました。港内を蛇行する不審船を保安警備員が発見・通報、巡視艇「しまかぜ」による激しい追跡の末、陸上へ不審者が逃走、警察官により取り押さえ、負傷した不審者を救急搬送する一連の訓練でした。特に不審者と警官の一進一退のやりとりが迫力あり、緊迫感のある訓練でした。ご協力いただいたみなさんのご活躍により、石巻港の安全が守られている事を深く感謝致します。今後もこうした訓練を定期的実施する予定です。



猛スピードで逃げる不審船

追尾した海保による取り調べ



隙をついて船から逃げた不審者を駆けつけた警察が追う！必死に逃げる不審者



※激しい追跡により土煙が立っています



抵抗する不審者を5分以上の死闘の末・・・確保



放射線について安全性を引き続き確認しています

石巻港では、大気中の放射線量を週2回(火曜日・金曜日)、海水中の放射線濃度を概ね2週間に1回程度測定し、港の安全性を確認しています。

大気中の放射線量

月	各月平均値	各月最大値
1月	0.048	0.066
2月	0.053	0.066
3月	0.050	0.060
4月	0.050	0.061
5月	0.049	0.063
6月	0.052	0.062
7月	0.050	0.061
8月	0.052	0.061
9月	0.050	0.061
10月	0.050	0.058
11月	0.050	0.061
12月	0.053	0.061

(単位 μ Sv/時)

海水中の放射線濃度

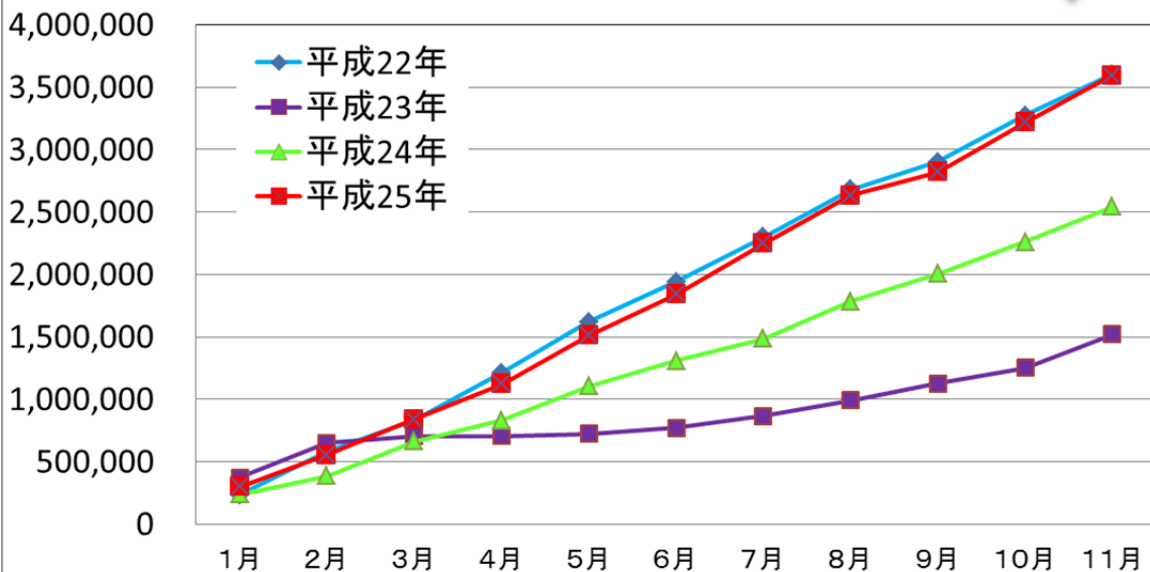
月	放射線ヨウ素	放射性セシウム
1月	不検出	不検出
2月	不検出	不検出
3月	不検出	不検出
4月	不検出	不検出
5月	不検出	不検出
6月	不検出	不検出
7月	不検出	不検出
8月	不検出	不検出
9月	不検出	不検出
10月	不検出	不検出
11月	不検出	不検出
12月	不検出	不検出

取扱貨物量の推移

今年は天候不良が多くありましたが、順調に回復しております。

震災後、貨物取扱量が減少しましたが、岸壁の復旧に伴い震災前の約99.8%まで回復しました。(11月まで累計 3,596,849 t)

取扱貨物量(累計)の比較



石巻港湾事務所防災訓練

12月11日(水) 震災から2年9ヶ月に合わせ、今年度第2回目の所内全体の防災訓練を実施しました。今回の訓練では平日の災害発生を想定し、当所は津波浸水区域にあることから、事務所機能移転(災害配備班)、避難訓練(避難班)を併せて行なった。また、現場企業(21業者)との合同防災訓練も実施しました。

現場企業の訓練



東部下水道事務所に事務所機能を移転した様子



東日本大震災の津波、未到達エリア(国道45号線)までに要した時間は、石巻港湾事務所より徒歩15分

石巻港区の復旧状況

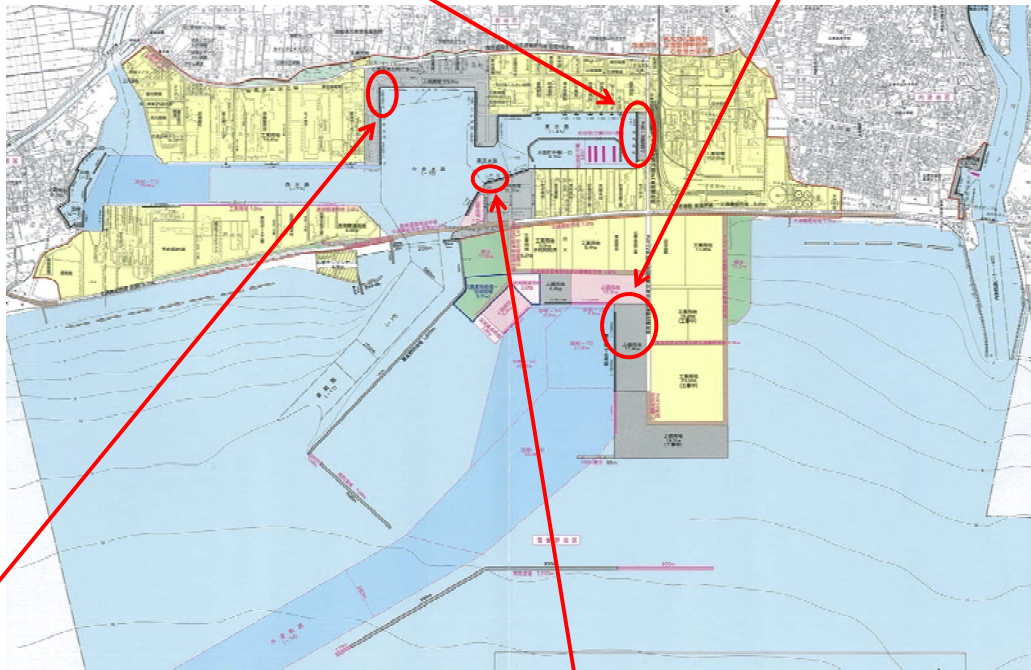
着々と工事が進行し、完成した箇所については順次供用を開始しています。
また、12月には潮見埠頭で岸壁の災害復旧工事が完成し、別工事による荷捌地の復旧も完了もあわせて、潮見埠頭全体の復旧が完了しました。



潮見1,000t岸壁災害復旧工事
12月13日完成



雲雀野中央荷捌地災害復旧(その2)工事
11月8日完成



中島1号岸壁
11月13日より供用開始



南浜2号岸壁
12月10日より供用開始

表浜港の復旧状況

物揚場など一部の施設が完成し、供用を開始しています



石巻港湾事務所管内の復旧進捗状況

平成25年12月末現在

		実施額(千円)		着手率		完了額(千円)		完了率	
		件数	工事費	件数	工事費	件数	工事費	件数(%)	工事費(%)
仙台塩釜港 石巻港区	港湾 (38)	37	7,645,271	97.4%	89.8%	10	2,197,176	27%	29%
	海岸 (6)	5	4,803,984	83.3%	94.4%	2	327,954	40%	7%
	計 (44)	42	12,449,256	95.5%	91.5%	12	2,525,130	29%	20%
地方港 計	港湾 (32)	30	6,329,989	93.8%	96.2%	6	437,864	20%	7%
	海岸 (16)	3	2,996,918	18.8%	18.4%	0	0	0%	0%
	計 (48)	33	9,326,907	68.8%	40.8%	6	437,864	18%	5%
合計	港湾 (70)	67	13,975,260	95.7%	92.6%	16	2,635,040	24%	19%
	海岸 (22)	8	7,800,903	36.4%	36.5%	2	327,954	25%	4%
	計 (92)	75	21,776,163	81.5%	59.7%	18	2,962,994	24%	14%

臨港道路、岸壁等の港湾施設に関しては9割以上着手しており、石巻港区内の工事については概ね平成25年度年度中に完了する予定です。

防潮堤等の海岸施設については、石巻港区の西海岸線、東海岸線まで着手しましたが、地方港の来年度着手予定です。

雲雀野中央埠頭の保安警備を再開します

雲雀野中央埠頭のソーラスフェンスの復旧が完了したため、平成26年3月から保安警備を再開する予定です。

再開後、雲雀野中央埠頭への立入には中央のメインゲートで保安確認を受ける必要があります。

